

# こうなん市議会だより

No.39 | 平成28年6月1日発行

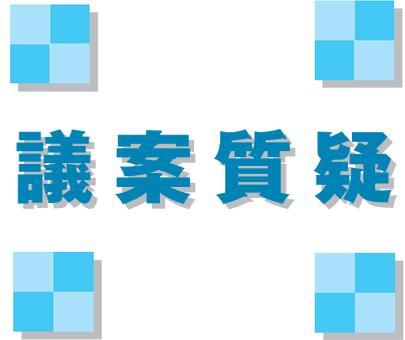


## 3月定例会

- ◎議案質疑 .....P2
- ◎行政諸般の報告 .....P6
- ◎いっばん質問 .....P7
- ◎審議した議案 .....P18
- ◎市議会10年の歩み .....P20
- ◎市議会の新体制 .....P22
- ◎各委員会の開催状況 .....P23

発行●高知県香南市議会  
発行人●高知県香南市議会議長

# 平成28年 香南市議会3月定例会



三月定例会は、二月二十五日から三月二十三日まで開催され、専決処分報告と人権擁護委員の推薦議案、二十七年一般会計補正予算や二十八年度一般会計当初予算など五十議案が審議され、いずれも全員賛成・賛成多数で可決された。主な質疑の内容は以下のとおり。

議案第二十八号

平成二十七年香南市一般会計補正予算（第五号）

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ二億二千六百四十四万二千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ二百十二億七千二百六十六万六千円とするもの。

**問** タイムラインはいつまでできるか。

タイムラインの策定はいつまでできるか。二十八年度中にできるか。

**答** 台風期まで

野島 防災対策課長

暫定版を、二十七年内に仕上げ、今年の台風期までには、仕上げる予定。その後試運転をして、精査し、二十八年度中には精度を上げた計画にしたい。

※タイムライン（防災行動計画）：台風や豪雨時に風水害の発生前から関係機関等が、迅速かつ的確な対応をとるために、被害発生前から、時間軸に沿った具体的な対応をまとめた計画

**問** 農道や水路等の長寿命化を市単でできないか

農地維持等の多面的機能支払交付金は、各地域で、農道や水路等の長寿命化の予算の申請をしているが、国庫支出金が減額されている。市単独で事業を進めることはできないか。

**答** 土地改良補助等で

村山 農林課長

多面的機能交付金は、三つのメニューのうち、長寿命化の補助金がついていない状況である。県を通じて国に要望しているが、実現していない。県や国へ続けて要望していきたい。急ぐ案件は、本市の土地改良の補助金及び材料費支給でお願いしている。

議案第二十九号

平成二十七年国民健康保険特別会計補正予算（第二号）

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ六千二百三十七万九千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ五十三億九千八百六十二万八千円とするもの。

**問** 療養給付費等交付金の減額等説明を

療養給付費等交付金が約一億円減額となっている。一方、共同事業交付金は約一億円増額となっている。この説明を求めたい。

**答** 退職被保険者の減少に伴うもの

西村 市民保険課長

療養給付費等交付金の減額は、退職被保険者数の減少によるもの。三十一年度を目処に制度をなくす方向にあり、二十七年から新規該当者がなくなっている。このため、被保険者の減少に伴い医療費が減額になり交付金も減少している。

共同事業交付金の増額は、今まで交付対象が三十万円以上のレセプトが対象になっていたものが、全レセプトが対象となり、大幅に伸びている。

一般会計当初予算審査特別委員会審査

議案第三十六号

平成二十八年度香南市一般会計予算について付託を受け、三分科会での審査及び総括審査を行った結果、原案のとおり可決すべきものと決定した。なお、本委員会審査で出された意見等を踏まえ、有効な予算執行を行うよう要望した。

主な質疑応答は次のとおり。

(予算の概要)

当初予算の総額は、二百二億七千六百八万二千円で、前年度予算額百九十五億八千六百四十五万円に比べ、六億八千九百六十三万二千円(三・五%の増)。

**問** 歳出で、ごめん・なはり線土木構造物耐震化負担金が計上されているが、全路線か。

**答** 耐震化は、二十六年度から始まっている。高架橋耐震工事から始まり、国道と並行しているところ。

**問** 公衆無線LAN構築委託料の事業内容は。

**答** Wifi用のLANを延長するもので、現在、のいち駅、本庁一階市民室、弁天座、絵金蔵、ヤ・シイパーク、サイクリングターミナル、天然色劇場への設置を予定している。

**問** 香南市三宝山観光拠点化基本計画の策定委員会を立ち上げることだが、新

な策定委員会設置要綱はいつつくるか。また、策定委員のメンバーは。

**答** 委員会設置要綱は、五月には作成したい。委員は、プレイヤーとなる方を中心に考えている。

**問** 集落活動センター推進事業費補助金について、西川地区の集落活動センターの事業状況をどう認識しているか。

**答** 同センターは三月二十日で三年になる。今後、花公園の維持管理や商品開発に対して支援していきたい。

**問** 扶助費の本年度予算は八億四千四百六十七万七千円で、一億円ほど少なくなっている。過去数年の予算編成と方針が違っているように思うが。

**答** ここ数年来、余裕を持たせて補助申請を国に行っていたため、数千円単位で返還していた。保護世帯は二十三年度をピークに緩やかに減少しており、二十八年度の予算は決

算状況をもとに去年と比べて約一一%の減額となった。

**問** 香南清掃組合の施設整備に伴う負担金は、いつから始まるか。また、ごみ袋の値上げの考えは。そして、三つの市の負担率はどうなっているか。

**答** 整備事業自体は二十六年

三十二年度からは、負担金が二億一千万円程度になり、現在の負担金、二億四千五百万円と比べると増える。

また、三十二年度からごみ袋の値上げの可能性はある。二十七年の負担率は香南市が約三二%、南国市が四三%、香美市は約二五%となっている。

**問** 乳幼児健康事業の定期健診を受診していない親子に対しての対応は。

**答** 再通知をしても来ない方には、原則一回は訪問し、様子を聞いて対応している。

**問** 高知農業支援事業補助金二千二百四十万円の二つ洗浄結束機は洗浄機と結束機が一体となったものか。台数は。

**答** 結束機と洗浄機は別々のもので、一体でも単体でもよいが、今回は、洗浄機の方だけで六台を要望している。

**問** 水産多面的機能発揮対策支援交付金の手結地区藻場保全と、赤岡・吉川地区の掃海活動の頻度は。

**答** 藻場保全のウニの除去やモニタリングは年六回程度。掃海については二回程度実施している。

**問** 道路の区間線が消えているところなど、危険な箇所も見受けられるが、道路維持補修事業三千七百万円の事業は、どのような優先順位をつけているか。

**答** 舗装、区画線の工事が三千五百万円と、新規事業の市道南北三号線の舗装二百万円で、交通量の多い路線や危険度の高い路線を中心に優先順位をつけている。

**問** 学校ICT整備事業で、小学校、中学校に無線LANを整備する予定だったが、見通しは。

**答** 二十九年度までには実施したい。



香南清掃組合

### 総務常任委員会審査

条例十三件など、十八議案が付託され、審査した結果、いずれの議案も原案のとおり可決すべきものと決定した。

#### 議案第五号

香南市過疎地域自立促進計画の策定

#### 問

老朽建物除去事業は、二十八年度七百万円、二十九年度、三十年度、三十一年度はゼロで、三十二年度は四千二百万円となっている。平準化されていない理由は。

#### 答

二十八年度に老朽化した市営住宅、三十二年度に赤岡庁舎の取り壊しを見込んでいます。

#### 議案第七号

香南市情報公開条例の一部を改正する条例

#### 問

開示決定の延長期間が三十日から六十日に延長さ

れる。丁寧な運用を心がけるといいますが、将来的に担保できるか。

#### 答

実際の運用では、十五日以内にほとんど処理できている。期間を延長する場合は、申請者と連絡を取り合い、了解を得ながら運用をしていく。今後丁寧な運用を行ってとまで考えていないが、引き継ぎ書には明記する。

#### 議案第十号

香南市行政不服審査会条例

#### 問

第五条の「委員」は、公正な判断をすることができ、かつ法律もしくは条例または行政に関してすぐれた識見を有する者であるが、具体的な人選の基準と、その委員の報酬額

#### 答

人選は、情報公開審査会の委員五名を考えている。同審査会の委員は弁護士も入っており、専門知識もある。また、事例によっては税理士、司法書士等にも入ってもらうこ

とも考えている。報酬は、規則に追加する形で処理をする。

#### 議案第十二号

香南市選挙公報の発行に関する条例

#### 問

選挙公報は、障害者差別解消法に基づく合理的配慮として、視覚障がい者などに、音声や点字による公報を検討したか。また、香南市も高齢化が進んでおり、文字の大きさとカラーユニバーサルデザインなどにも十分配慮してほしい。

#### 答

公報は、音声や点字等検討に至っていない。今後十分に配慮し、どういった方法がとれるか検討する。

#### 議案第十六号

香南市税条例の一部を改正する条例

#### 問

徴収猶予の申請手続で、その猶予期間が三カ月を超える場合や百万円を超える場合に、担保や保証人の規定があるが、計画どおりに支払いが履行されなかった場合に、この担

保や保証人への対応に規則的なものがあるか。

#### 答

担保を出してもらった場合や三カ月を超える場合などの要件が決まっている。途中で、支払いがない場合は、担保を押さえるとか、保証人のある場合は、保証人への請求、また、猶予を取り消すなどケース・バイ・ケースで対応する。なお、徴収猶予の場合、延滞金が免除になるなど、ほかの滞納者とは随分違ってくるので、公平性を保つて対応する。

#### 議案第十八号

香南市土地開発基金条例を廃止する条例

#### 問

土地開発基金条例が廃止となれば、土地開発公社の存在意義が問われる。現在の業務を含め、将来展望を考えると、将来的にはないか。

#### 答

公共事業で先行取得している土地は、計画的に市が買い取ることを検討していかなくてはならないと考えてい

る。公社の今後のあり方も含め、検討する。

### 教育民生常任委員会審査

条例四件、特別会計予算五件など、九議案が付託され、審査した結果、いずれの議案も原案のとおり可決すべきものと決定した。

#### 議案第十九号

指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

#### 問

現在利用している小規模の通所介護事業所は、継続利用可能とのことだが、その期間は。また、継続できなくなることで、サービスが低下し、利用者が不利益を受けるのでは。

#### 答

現在のサービスが切れるまではみなしということ、継続利用が可能。その後

は、基本的に香南市の被保険者のみの利用できる施設になる。しかし、介護状態の悪化を防ぐことが大事なので、一番に利用者のことを考えた上で、他市とも相談・協議しながら考えたい。

議案第二十二号

非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

**問**

保育所嘱託医及び学校医の報酬額が年額四万九千三百八十八円から七万円へと改正しているが妥当か。どのように精査したか。

**答**

近隣自治体のレベルに合わせてほしいと香美郡医師会から要請があった。安芸市が六万九千円、南国市が七万円で、香美市と協議し、七万円に改正した。

議案第二十七号

平成二十八年年度香南市国民健康保険特別会計予算

**問**

課税限度額の見直しは国会も通過していないが、

新しい課税限度額で予算計上するのは民主主義の観点からいかなものか。

**答**

厚生労働省から県を通じて適正な予算編成を行うよう助言指導が来ている。質問の趣旨はよく分かるが、この指導を踏まえ、見込みを立てていると理解してほしい。

議案第二十九号

平成二十八年年度香南市介護保険特別会計予算

**問**

二十七年年度からボランティアポイント事業が開始され、二十八年年度も二十七万三千円の予算がついているが、事業の内容は。

**答**

ポイント制度の登録者が五十五名、そのうち介護保険の地域支援事業の該当になるのは六十五歳以上で四十名いる。指定の施設は十五事業所で、グループホームや特別養護老人ホーム等である。新規のボランティア登録が十三名で、今後新たな発掘が課題。

**問**

介護予防教室事業委託料一千八百二十万四千円の内容は。

**答**

要介護状態への移行防止及び介護予防に関する活動の普及、啓発のためにお達者教室として社協へ委託している。四力所で実施、実参加人数百四名で少し空きがあるが、今後、総合事業に移る二十九年度に向けて、要支援者レベルの人にも受け入れるため、定員を若干増やす予定をしている。認知症対策としては、脳の健康教室や、認知症サポーター養成講座を開催している。



認知症サポーター養成講座

**産業建設常任委員会審査**

条例二件、特別会計予算十一件など、十三議案が付託され、審査した結果、いずれの議案も原案のとおり可決すべきものと決定した。  
主な質疑内容は以下のとおり。

議案第二十三号

香南市水産機能施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

**問**

今までは指定管理者の許可のみだったが、市長の許可を追加した理由は。

**答**

市が管理する場合の規定がなかったことから、追加するもの。

議案第二十五号

吉川村共同利用常温煙霧機の設置及び管理に関する条例を廃止する条例

**問**

煙霧機とはどういうものか、どのように廃止するか。

**答**

園芸用の煙霧機で病害虫駆除のため、吉川村で購入していたが、耐用年数も過ぎ、使用もされていない。

議案第三十三号

平成二十七年年度香南市下水道事業特別会計補正予算(第二号)

**問**

繰越明許の理由が機材の調達遅れとのことだが、入札・落札後に延期されることには問題がある。今後の対応は。

**答**

騒音対策としての仮設電源を、電力から引く手続きを手間取った。東北の復興やオリンピック関係で資機材の調達が進まず厳しくなることから、工期や入札を考えたい。

議案第四十号

平成二十八年年度香南市工業団地造成事業特別会計予算

**問**

土地がまだ一区画残っている。県との共同事業だが、市としてどのように努力しているか。

**答** 二月に知事が名古屋圏で  
トップセールスを行った  
際、本市も商工水産課の職員が  
参加した。引き続き市長の日程  
を調整し、トップセールスも行  
う。



香南工業団地

議案第四十一号

平成二十八年香南市簡易水  
道事業特別会計予算

**問** 二十九年度から簡易水道  
と上水道が統合になり、  
企業会計になるが、統合でどの  
ようなことを想定しているか。

**答** 財政的にはしばらく大丈  
夫だが、夜須、赤岡の減

価償却費が若干上がってくるこ  
とから、十年先には厳しくなる。

議案第四十二号

平成二十八年香南市下水道  
事業特別会計予算

**問** 今後の香南市の財政状況  
を考えれば、一般会計か  
らの繰出金が問題になってく  
る。問題解決を図る計画をつく  
り取り組むべきではないか。

**答** 農業・漁業集落排水と公  
共下水道を合わせた統合  
の全体計画は、現在作成してお  
り、三十年度の後半を目処に、  
アクションプランをつくって取  
り組む。

議案第四十三号

平成二十八年香南市農業集  
落排水事業特別会計予算

**問** 県の補助金として二千万  
円があるが、どのような  
事業に使うか。

**答** 佐古と上岡の機能強化対  
策事業の補助金で、真空  
弁の補修を予定している。

# 行政諸般の 報告

## ルネサス高知工場撤退

県に対して、高知工場の承継  
企業の確保並びに従業員の雇用  
継続に全力を尽くすようルネサ  
ス側に要望するとともに、県も  
協力度体制をとること、高知工場  
二棟目用地への企業誘致や香南  
工業用水道事業の継続、今後想  
定される事業等に対応するため  
の対策本部の設置などを求める  
要望書を提出した。

## 津波避難対策

津波避難タワーは、二十七  
年度中に十二基が完成した。二十  
八年度は、新たに三基の整備を  
予定しており、また、高知県が  
別途三基のタワーを三力年程度  
で整備することになっている。  
避難道の整備は、二十七年度ま  
でに十五路線が完成し、二十八  
年度は新たに四路線の整備を行  
う。また、二十八年度には、地

震・津波を含めた災害時の避難  
施設としての機能を兼ねた吉川  
町防災コミュニティセンターを  
建設予定。住宅耐震改修助成事  
業、空き家老朽住宅の除去費用  
の一部補助は、二十八年度も引  
き続き実施する。

## 新庁舎建設

昨年十二月に第五回庁舎整備  
検討委員会を開催し、庁舎周辺  
の隣接住民の方々を対象にした  
地元説明会の結果を報告して、  
新庁舎の配置案について審議。  
配置案については、現庁舎の北  
側及び南側の二案について審議  
が行われ、現庁舎の北側への配  
置案が承認された。

## 三宝山観光拠点化基本構想

三宝山観光拠点化基本構想磨  
き上げ検討委員会にて検討を重ね  
てきた。具体的な内容は、二十  
代から四十代のファミリー層を  
ターゲットとし、香長平野を見  
渡すことができる眺望を生かし  
たパノラマアスレチックやレス  
トランの設置などの構想をまと  
めた。近隣の観光施設等と連携

し、さまざまな楽しみ方ができ  
る体験観光エリアをつくること  
により、県内外からの観光客の  
増加が見込まれ、採算がとれる  
施設を目指すこととしている。

## ウエルカム移住・定住促進事業

住まいの充実を図り、移住・定  
住の受け皿づくりを進めるとと  
もに、地域を活性化するための  
施策。市が所有者から十年間借  
り上げ、改修工事を行い移住者  
に貸し出すというシステムを採  
用することにより、移住を促進  
する体制を整える。既存の住宅  
の取り壊しや新築費用、引っ越  
し費用、そして荷物の処分費用  
に対する補助制度やお試し住宅  
の確保などの支援策も設けた。

## 農業後継者推進事業

二十八年度から、県の青年就  
業給付金に該当しない就農後五  
年以内の新規就農者で、かつ四  
十五歳未満の農業者に対し、年  
百万円の補助金を二年間交付す  
る農業後継者推進事業を実施す  
る。補助の要件として、一定期  
間、市へ就農状況について報告  
を行う必要がある。

● 市政を問う ●

# いっぱん質問

11人が登壇

## 奨学金制度



馴田 文雄議員

### 問

**高学費・給付制奨学金  
未整備の認識は**

OECD加盟国の中で、学費が高額で、かつ、給付制奨学金がないのは日本だけである。そのため家庭の経済状況によって大学などへの進学が左右されることが指摘されている。市長の認識は。

### 答

**社会を支える  
仕組み必要**

清藤 市長

授業料水準と公的補助水準を四つの分類にした場合、我が国は高授業料・低補助に該当している。家庭の経済状況によって大学進学などに差があると指摘されていることも認識している。学生が経済的な理由で進学を断念することがないように社会全体が支えていく仕組みづくりが必要と考えている。

### 問

**奨学金問題への  
認識は**

全学生の四割が、日本学生支援機構の奨学金を利用している。一九九八年から二〇一四年の間に利用者は三・七倍に急増し、利用者の三分の二が、最大で三%利子の奨学金を利用してゐる。非正規雇用が四割を超え、大学を卒業しても約三分の一が年収三百万円未満といわれ、返還の滞納者が三十三万人に達している。それに対して機構は繰り上げ一括返済を求め、訴訟を乱発するなど、問題が指摘されている。市長の認識は。

### 答

**国民的な  
議論必要**

清藤 市長

日本学生支援機構の奨学金をめぐっては、訴訟が増加し社会問題化しつつある。文部科学省も所得連動返還型無利子奨学金の導入、給付制奨学金の検討などをしている。大学などの教育費負担について国民全体としての議論も必要ではないか。

### 問

**奨学金返還補助  
制度の拡大を**

市は二〇一六年度から学生支援機構の奨学金の返還を補助する制度として未来人材育成奨学金支援事業を始める。これは市内の事業所の将来を担う優秀な人材を確保することが目的とされており、非正規労働者は対象とされていない。制度は大きな前進だと考えるが、「人生支援」の枠組みで、真に返済に困っている人を支援していく制度をつくるべきではないか。

### 答

**制度の趣旨が  
異なる**

清藤 市長

今回の制度は、有為な人材に

帰ってきてもらい、将来の市を担っていてもらおうというのが。奨学金の返済に困った方の返還を支援するためのものではない。今後は制度の状況も見つつ、対応が不足する場合には市としても検討し、国・県にも提言を行っていききたい。

## 消費者トラブル

### 問

**消費生活  
センターの設置を**

国は、消費者行政の強化に取り組んでおり、国民生活センターと連携する消費生活センターを、すべての都道府県に設置し、市町村にも必要に応じてセンターの設置を求めている。高知県では県のセンターのほか、高知市、南国市、幡多地域では広域で消費生活センターが設置されている。県の資料では、香南市民の消費者相談は、既にセンターを設置した地域に次いで多くなっているが、その多くを県のセンターで受け付けている。現在の商工水産課内の相談体制は不十分ではないかと考え

### 答

**現時点では  
考えていない**

小松 商工水産課長

現在は商工水産課の職員が兼務で相談者のさまざまな相談に対応している。相談が専門的な場合には県のセンターにつないでおり、必要な場合には司法書士にも協力してもらっている。今後ともこういった体制で、関係機関との連携を密にしていることが必要だと考えており、現時点で、市として消費生活センターの設置は考えていない。



高知市消費生活センター

## 若者施策



宮崎 晃行議員

### 子ども・若者育成支援計画の策定は

二〇一〇年に、子ども・若者育成支援推進法が施行されて、六年が経過した。同法に規定されている子ども若者育成支援計画の策定について本市の方針は。

### 答 教育振興基本計画等に位置付ける

近森 生涯学習課長

二十八年度の、市教育振興基本計画の中間見直しに併せ、教育振興基本計画か、人生支援計画等の中に、子ども・若者育成支援計画を位置付け、取り組んでいきたい。

### 問 支援地域協議会の設置は

子ども・若者育成支援推進法

では自治体に対し、子ども・若者育成支援推進計画の作成とともに、子ども・若者支援地域協議会の設置を要請しているが、全国の地方公共団体の六・六％しか設置していない。困難を抱える若者は、複雑な問題が複合的に絡んでおり、さまざまな機関がネットワークを形成し、専門性を生かした支援を行うことが必要であるが、協議会の設置について、本市の方針は。

### 答 関係機関と協議

近森 生涯学習課長

中学校卒業後や、高校の中退後の進路未決定者、いわゆるニートや、ひきこもりの状態にある若者に対する支援体制が、現在、不十分な状態である。教育、就労、福祉、保健、医療その他の関係機関が連携をして情報交換を行い、検討・協議、実態把握をして支援していく体制が必要である。今後、関係機関と協議していきたい。

## 農業施策

### 問 環境制御技術補助の拡大は

限られた農地を有効活用して生産量を増やすには、先進的な技術の導入が不可欠であり、炭酸ガス発生機等の環境制御技術を利用した取り組みが推進されている。本市でも二十六年度から補助金が設けられ、導入が進んでいる。県の予算案では、この補助金の対象を拡大し、年々技術をステップアップし、三〇%の増収を図るとの計画が出されているが、本市の方針は。

### 答 市も同様に拡大

村山 農林課長

二十八年度から、新たに日射比例かん水装置やニラの電照装置等公的機関で実証された機器の追加といった補助対象のメニューの拡大をした。また、複数回の利用や補助金制度の見直しを現在県が検討しているの、内容が正式に決まり次第、市の補助金も同様に拡大していきたい。

## ふるさと納税

### 問 クレジット決済導入を

ふるさと納税に関して、クレジット決済の導入は申込者の利便性のためにも取り組むべき施策であると考えますが、本市の方針は。

### 答 六月一日から運用

小松 総務課長

本市も、今年六月一日から運用できる予定となっている。これにより、ふるさとチョイスのサイトを通じての寄附は、申し込みから寄附までの手続きが数分で簡単に終了することができるようになる。利便性が向上し、寄附の増加につながるものと期待している。

## 防災施策

### 問 橋梁の耐震、道路の陥没対策の現状は

万が一の震災の際、物資輸送や救援のための緊急輸送道路は必ず確保しなければならない。

緊急輸送道路について、南海トラフ地震対策としての橋梁の耐震化及び道路の陥没化対策はどのような状況か。

### 答 主要市道橋は順次耐震化

松本 建設課長

輸送ルート確保に關し、道路開計画では揺れや津波での市道橋の落橋は想定されていないが、主要市道にかかる橋梁の耐震化は今後も計画的に進める。道路の陥没も同様に想定されていないが、他の市町村とともに路面下の空洞調査を計画的に実施し、道路陥没対策に今後も取り組んでいく。なお、本年度の道路路面下の空洞調査は、過去の陥没状況等から判断し、市道南屋敷西澤線、駅前南北線、深淵線、吉川一二四号線、赤岡町から岸本に至る新佐古岸本線、岸本から夜須町手結に至る坪井千切線の市道六路線で調査を実施した。

### 高齢ドライバーの事故対策



森本 恵子議員

#### 問 事故件数比率は

高齢ドライバーによる交通事故が相次ぎ報じられている。高速道路の逆走や信号無視等、七十五歳以上による死亡事故の割合は増加傾向にある。

本市における過去三十九年の六十五歳以上の高齢運転者の事故件数は。

#### 答 全体の四三%

野島 防災対策課長

三十九年の交通事故件数は三百三十五件。うち、高齢運転者の事故件数は百四十四件。全体の四三%となっている。

#### 問 自主返納者件数は

本市の六十五歳以上の運転免許証の保有者と自主返納者件数は。

#### 答 累計で百六十三人

野島 防災対策課長

二十七年十二月末現在、六十五歳以上の免許証保有者は六千三百二十人。自主返納者数は十五年からの累計で百六十三人。

#### 問 自主返納後の移動手段の取り組みは

運転免許証自主返納後の、買い物や所用等、交通手段が重要だが移動手段の取り組みは。

#### 答 医療機関送迎の対象者を要介護二以上に

大石 高齢者介護課長

医療機関送迎サービスとして二十八年年度から要介護三以上の対象を、要介護二以上に拡大する。

また、閉じこもり防止と心身のリフレッシュを目的に、日常生活用品の買い出し等の送迎を行う社会福祉協議会の事業に、

車両貸与の支援を行っている。

#### 問 道路交通法改正による対策強化は

二十八年六月、改正法施行を踏まえ、停止・取り消しなどの対策が強化されることになるようだが、自主返納者支援への取り組みは。

#### 答 関係機関と連携し周知を継続していく

野島 防災対策課長

警察署や県、関係機関と連携し、自主返納制度の周知を継続して行い、効果的な取り組みを検討していく。

### 香南市創生 総合戦略

#### 問 景気回復の現状認識は

政府は経済最優先でデフレからの脱却を目指してきたが、世論調査でも景気回復の実感のある人は三割程度にとどまり、中小企業や地方には波及していない。本市の景気の動向は。

#### 答 回復には至らず

田内 企画財政課長

景気の動向は、個人市民税の所得割や法人税割の伸びも見られ、有効求人倍率は着実に改善しているものの、常用労働者数は前年を下回るなどマイナス要因もあり、市民生活は景気回復の実感には至っていない。

#### 問 年金所得依存の認識は

地方経済における年金所得の依存割合が注目されている。認識は。

#### 答 年金が地域経済を一定担っている状況

田内 企画財政課長

二十六年の日本年金機構の公表では県の県民所得に占める年金受給額の割合は一八・九%と全国で二番目に高く、県の地域経済の一定の役割を年金が逆に担っている状況。

#### 問 結婚希望者への対策は

若い世代の結婚・出産・子育てに関する意識・希望調査では

ほとんどの未婚者が結婚を希望している。この結果をどのように認識しているか、また対策は。

#### 答 婚活事業に支援

光明院 地域支援課長

二十八年度から婚活事業を実施。結婚を希望される方々をサポート・支援していただける個人や団体を支援する事業として十万円を限度として補助制度を設立する。

#### 問 子育て環境整備の認識は

子育てしやすい住宅・居住環境の整備についての認識と取り組みは。

#### 答 多様な整備重要

光明院 地域支援課長

子育て世代の定住を図るため、家庭・地域・学校、行政などの相互の連携、協力体制を充実・強化、公園の確保や医療施設の確保など、多様な子育て環境整備の必要性を認識している。

## 子育て支援



野本 光生議員

### 問 独自の子育て支援策を！

赤岡保健センターに子育て世代包括支援センターを作るのは、将来的な香南市の子育て支援に向けた施策か。

二〇六〇年に三万人維持を目指すなら、香南市として独自の子育て支援策をすべきだと考えるが。

### 答 より相談しやすい体制に

島村 健康対策課長

保健師等の専門職が妊産婦の相談支援を行い、こども課や福祉事務所等の子育てに関する部署や医療機関等と連携し支援を行うもの。

健康対策課内に母子保健コーナーを置き、現在行っ

ている母子保健サービスを充実させ、相談しやすい体制やさまざまな機関との連携がスムーズに行えるよう進めていく。

### 答 特色ある支援策を検討

清藤 市長

二十八年度から三自治体で行うことになっている。限られた財源の中でどういったことが効果的なのか、香南市の中で特色ある形はどうか検討して、順次とり行っていきたい。

## のいち駅周辺整備事業

### 問 自転車置場と安全対策は

のいち駅周辺整備事業が、子どもたちの通学時期に行われるが、自転車置き場の確保と交通安全対策は十分に配慮されているか。

### 答 安全対策・細心の注意を

光明院 地域支援課長

駐輪場はフジグラン駐車場北の高架下のぷらっと・のいちに

臨時駐輪場を開設している。市営バスは、三月十四日から駅の東側の高架南に乗車場所を変更する予定。

安全対策は、工事内容に伴い、駅利用者送迎車両の進入を一時的に制限する時期もあるが、バリエードやフェンス、交通誘導員を配置して、安全対策に細心の注意を図る。

## 入札工事に 対する工期

### 問 変更は適正か

入札工事の工期が突然延長されている。農道・水路関係の工期は延長されると、周辺農家の作業に支障が出てくる。

工期の変更についてどのような状況のもとで判断し、工期の延長を認めているか。

### 答 発注者・受注者で協議

野中 副市長

天候の不良やその他、受注者の責に帰すことができない事由が発生した場合に、工期内に完成することができないと認められたときは、理由を付した書面で工期の延長変更を請求することができ

る。工期の変更は、

## 地域の整備要望

### 問 事業継続の引き継ぎ体制の確立は

現在までに市に要望されている水路・道路等の整備箇所が職員の人事異動で途切れることのないような、伝達事項のシステムを構築していただきたい。

### 答 書面で引き継ぐ

野中 副市長

案件の要望書や協議記録などの関係書類を引き継ぐとともに、経緯や今後の対応方針等を必要に応じて引き継ぎ書に記載し、次の担当者を引き継いでいく。

また、課長並びに課長補佐の引き継ぎ書は、総務課へ全て写しを提出させ、行政組織全体で内容を確認できるようにしている。



のいち駅周辺整備工事

## 沿岸地域の まちづくり



斉藤 朋子議員

### 問 専門家を呼べるか

東日本大震災から五年になるが復興の厳しさ、困難さを考えると、事前復興の必要性を痛感する。市街地の裏山を開発し、広大な高台を整備している土佐清水市へ視察に行ってきた。月見山周辺の高台が宅地開発等の事業に向いているかどうか現場を見てもらい専門家を呼んで話を聞かせてもらえるか。また、地質調査が必要とすればその費用はどのようになるか。

### 答 県等に相談できる

野中 副市長  
県等に相談の上、宅地開発の専門家に工事が可能かどうか聞くについてはできる。地盤の問題が

あるので、具体的には地質調査があるが、今はクラスター開発型の手法もある。準備段階に入ると、区画整理事業への補助金の事業費から地質調査の費用は見てもらえる。

### 子育て支援

### 問 市が直接関わるべきでは

二十八年度から高知市と佐川町に続いてファミリーサポートセンター事業が始まる。提供会員と依頼会員を結びつけるコーディネーターは子育て支援センターへ配置するなど、市が直接関わるべきでは。

### 答 事業者へ委託

長野 子育て支援を一カ所に集約している例は県外にはあるが、社会福祉に理解と事業実績があり、ボランティア育成の実績もある事業者へ委託する。

## 学校給食

### 問 アンケートの結果は

こうなん学校給食センターの稼働から一年半。調理現場の状況やアンケートによる児童・生徒の声は。また、視察状況は。

### 答 おおむね肯定的

入野 学校教育課長  
調理現場は軌道に乗り、スムーズに運営でき、調理員も効率的な仕事ができている。小学四年から中学三年までのアンケートの結果は、「給食の時間が楽しい」が五七％、「楽しくない」が九％、「どちらでもない」が三三％。「おいしくないから残すことが多い」と答えた小学生は一・八％、中学生は五・二％で、おおむね肯定的。PTAをはじめ各種団体の二十七年度の視察は、二十五団体、六百五十一人。

## 防災対策

### 問 防災士の養成状況と活用策は

県は二十五年から防災士養成講座を始め、資格取得者は現在六百六十八人とのことだが香南市は何人で、防災士の活用状況は。

### 答 香南市は三十九人

野島 防災対策課長  
防災士とはNPO法人日本防災士機構が認定した民間資格で、当市は男性三十二人、女性七人の合計三十九人。毎年五月の自主防災組織連絡協議会で防災士養成講座の案内もし、防災士には地域の中で自助、共助の担い手になってもらっている。

### 問 津波避難タワーの管理は

平地が少なく海岸に面して住宅が密集している中土佐町では港のすぐそばに円形の大きな避難タワーが建設されているが、近くの住民が毎日の散歩コースとして活用しているようだ。タ

ワーの管理はどうなっているか。

### 答 地元にも願っている

野島 防災対策課長  
市と地元自治会、自主防災組織と協議をして役割分担を申し合わせている。地元には維持管理作業のほか、防災訓練、タワーの昇降による健康づくり、自治会の催しなどを通じて日ごろから積極的な利活用をお願いしたい。防犯上の理由で入り口に鍵をかけているが、鍵をかけるかけないは地元で決めてもらっている。二十四時間開けているところもある。



YS1 夜須町第6地区西部津波避難タワー

## 市道拡幅工事



西内 治水議員

### 問 市道土居山B線 拡幅工事は完了か

二十四年度に施工の市道土居山B線拡幅工事について、幅員二・二メートルの区間が未完成。この箇所には民家の八段積のフロック塀があり、地震で崩落の危険性が大きい。本市道に面する愛童園は地域の指定避難所であり、また、この施設には年少児を含め二十七人が生活をしている。事故等の場合緊急自動車を通れない。いつ完成するか。

### 答 一部未施工で工事が終了

清藤 市長

地権者の理解が得られなかったため約二〇メートル残す形で工事が終了している。一部狭隘区間は地権者の理解が得られ

れば、できる限り工事は行う。

## 津波避難タワー

### 問 南国市のタワー建設費の倍以上、原因は

本市の十一基の平均建設費は一基約二億円、南国市の十四基の建設費用は九千八百四十万円。本市の一番高い建設費は松ヶ瀬の三億四千二百万円。旧高台建設費が一億五、六千万円で合計約五億円。収容人員は四百八十七人。南国市の一番大きいタワーは、一億三千六百万円強、収容人員五百六十五人。本市が十四基平均単価で建設すると、二十八億。南国市は既に二十六年に十四基完成し、十三億八千万円で整備済。なぜ本市が倍以上の工事費か。

### 答 躯体構造や仕様、発注時期等の違い

野島 防災対策課長

二十四年九月に高知県から示された設計の手引きに基づき、躯体構造や各部の仕様・仕上げは、建設現場の地質調査や、周辺状況を勘案し、建設費はもと

より維持管理費用を考慮し決定しており、各自自治体ごとに建設方針は異なる。また、発注時期により資材や労務単価が変動する。

## たばこの健康被害

### 問 本市の喫煙者数は

たばこは発がん物質や有害物質を含む。がんだけでなく呼吸器や循環器、消化器等種々病気を引き起こす。

日本のたばこ規制は、先進国の中でも最も遅れている。日本はたばこが原因で年間十三万人が亡くなり、うち受動喫煙による死者は六千八百人と推定され

ている。本市の喫煙者数はどれくらいか。また、健康・介護・後期高齢者医療保険の二十七年実績は八十九億七百万円。二十八年当当初予算は九十億二千三百万円である。たばこによる影響は何パーセントと推測か。

### 答 特定健診受診者の喫煙者は一三%

島村 健康対策課長

喫煙はがんや生活習慣病だけでなく、慢性閉塞性肺疾患の最大の危険因子。

特定健診受診者数二千七百一人中喫煙者数三百五十二人で一三％。男性受診者の四人に一人で二四・六％。女性受診者の二十人に一人で四・九％。全国五万人同規模市町村平均は一三・五％。

たばこの害

の啓発は、母子健康手帳交付時、小・中学校の健康教育の機会に徹底している。また特定健診、商工会主催の生活習慣



病検診時にチラシ配布、また個別に禁煙外来を含めた禁煙方法について保健指導も行う。今後も、受動喫煙防止や禁煙支援に取り組む。また各種保険給付費に関して、喫煙の影響は関連データがないので割合の推計は困難。しかし国内では喫煙者とがん発症率に関連する報告で、肺がんは非喫煙者に比較すると、死亡の危険度は四・五倍、咽頭がん三・三倍、食道がん二・二倍と高く、医療費への影響は大きいと考える。

### 問 受動喫煙防止の条例は

受動喫煙防止について、条例等で取り組む考えはないか。

### 答 協議を進める

島村 健康対策課長

現時点での条例制定は難しいが、今後、保健所や関係機関と情報交換を行い、受動喫煙防止の条例化等含め禁煙分煙対策の推進の協議を進めていきたい。

# 保育所・幼稚園 行政



志磨村公夫議員

## 新規臨時職員等の 雇用及び募集方法は

臨時職員について、新規雇用を何人予定し、どのような方法で募集しているか。

## 答 広報、学校等へ 呼びかけ

長野 ことし課長

二十八年度の予定者数は十八人のところ、まだ九人が必要数に達していない状況である。募集については、広報、ハローワーク、福祉人材センター等を活用しながら、さらに今年は、高知市内で開催された、福祉就職フェアに二回参加し、実際に求職活動をしている方に就労を呼びかけている。

また、県内外の保育士、幼稚園教諭養成学校へ募集案内の送

付や、県内の学校へは直接訪問するなど、就労を呼びかけている。

## 問 継続臨時職員等の 同一勤務状況は

継続雇用臨時保育士、幼稚園教諭の同一保育所、幼稚園での勤務状況並びに、最長勤務年数は。

## 答 同一勤務場所では 最長十四年

長野 ことし課長

二十八年度の継続採用予定臨時保育士、幼稚園教諭、合計十六人のうち、同一保育所・幼稚園に勤務している職員は、三年未満が三十二人、三年から五年未満が七人、五年以上が二十七人になっている。最長の方は十四年になっている。

## 問 三年から五年で 配置替えすべきでは

臨時職員等の継続採用の場合、同一保育所・幼稚園で三年から五年以上は勤務させず、配置替えをすべきでは。

## 答 五年以上勤務者は 異動の対象に

長野 ことし課長

臨時職員の異動は、正職員と同様に、職場の活性化や職員の人材育成を進めるためにも必要だと思っている。今まで異動についての基準を決めていなかったことを反省するとともに、今後は、教育委員会等で定めている香南市立保育所・幼稚園職員人事異動方針に準じて、同一職場でおおむね五年以上の勤務者は異動の対象として、適材適所の配置に努めていきたい。

## 香南地区広域ライ スセンター建設計画

## 問 現在の状況は

建設計画が補助金等の関係で困難な状況と聞くが、どのような状況か。

## 答 J A土佐香美が 自己資金で建設予定

村山 農林課長

各関係者と補助事業の申請に向けて協議を重ねてきたが、重要な採択要件である費用対効果

が採択要件に届かず、申請をあきらめることになった。

その後、J A土佐香美が自己資金を主体とした施設整備を行い、二十八年度産米から受け入れを予定している。

## 問 吉川町・赤岡町の 方向性は

香南地区広域ライスセンターの運営方針等が決まっていないと思うが、現在の吉川町・赤岡町ライスセンター運営の今後の方向性は。

## 答 新ライスセンター稼働 時に運営停止予定

村山 農林課長

吉川・赤岡のライスセンターは築三十年以上が経過しており、老朽化も激しいことや、今後起こることが予想される南海トラフ地震津波浸水想定区域内に建設されていることから、新たに建設されるライスセンターが稼働するときに運営をやめる予定。

施設利用者には、J A土佐香美並びに農林課の方で説明会を開催し、ご意見を聞きたいと思っている。

## まちづくり自治会

## 問 今後の支援体制は

まちづくり自治会が各町内でできつつあるが、今後の支援方法についてどのように考えているか。

## 答 職員が地域に入る

光明院 地域支援課長

少子・高齢化に伴う役員の確保や、参加者の減少など、自治会の課題が増えてきている。この課題に対して、地域支援課、各支所、地区担当職員が一緒にあって、地域の方々と話し合いをしながら、対応していきたい。



地区懇談会

### 三宝山観光 拠点化基本構想



山中 昭議員

### 問 市の関わり明確に

今回、磨き上げ検討委員会として、より具体的な内容が報告されたが、この事業に関わる市の思い、方向性、役割、スタンス、それらを明確に示しては。

### 答 コーディネーター役

清藤 市長

市の基本としての考え方は、香南市民の多くの皆さんから、三宝山を観光拠点として取り組んでほしいという意を受けて、それを具現化していくのが基本姿勢だ。

高知県、地権者、専門家等を含めどういった形が、一番、三宝山の観光拠点としてふさわしいのか、集客力や維持管理、運

営も含め観光拠点になり得るものはどんなものか、検討してきた。さらに具現化に向けて香南市が、そのコーディネーター役となっていく。

### 防災対策

### 問 中山間、山間地域の防災対策は

地震や大雨災害時に、孤立が予想されている地域は把握しているか。またどのような対策を取っているか。

### 答 孤立対策等検討

野島 防災対策課長

孤立が予想される地域は、香我美町の西川地区や東川地区の六集落と、夜須町の羽尾、国光、細川地区の三集落の計九集落予想している。

孤立対策の基本方針やヘリコプターによる輸送手段の確保、通信、連絡手段の確保、現地確認の実施など、より具体的な対応を検討している。

また、高知県土木部が今年度導入を予定している土砂災害警

戒情報の発令基準に基づき、警戒情報発令を適宜発令するなど、円滑な避難行動につながるよう対応する。

### 問 ヘリポート整備を

今、中山間、山間地域は、交流人口、流動人口が増えてきている。必然的にそれに対する事故、事件、けが、病気等が発生する確率が高くなるが、救急活動や災害に対する救命活動、支援活動等のために、ヘリポート整備を考えては。

### 答 候補地 見つからない

野島 防災対策課長

ヘリポートを整備することは大変有効と考えるが、整備するには、航空法に定められた許可条件である安全性を確保するための基準を満たすことが求められる。本市の場合、地形の理由により安全対策が十分に確保できず、候補地はなかなか見つからないのが現状だ。今後においてもヘリポート整備の調査も続けながら、多様な手段を講じての対策を進める。

### 問 岸本、夜須地区に二次避難施設を

本市の地震、津波による被害予想は約九千二百棟。

避難想定者数は一万九千人。うち避難所利用想定者数は一万二千人。

岸本、夜須地区の二次避難施設は、中期財政計画や、命を守る対策、命を繋ぐ対策にも計画されていないが現状の考え方は。

### 答 香我美・野市への 広域避難で対応

野島 防災対策課長

現在、命を守る対策として津波避難タワーや避難道の整備を進めているが、その助かった命をつなぐ対策として、避難所運営マニュアルや各種防災計画を策定している。命をつなぐ対策の重要な部分として、ある一定期間の避難生活を続ける場所として、二次避難所が考えられるが、現在、岸本、夜須地区に新たに施設を整備する計画はない。

### 答 課題認識あり 精査する

清藤 市長

今の計画では、二次避難所として、香我美町とか野市町の施設への広域避難を考えている。現在、具体的な計画はないが、命をつなぐ施策に取り組んでいくにあたって、課題のある地域という認識は持っている。もう一度、精査した中で計画を立てていく。



幡多地域のヘリポート

## ルネサス高知工場



山崎 朗議員

### 問 県対策本部へ 香南市も

昨年十二月一日、ルネサスが二、三年後の撤退を表明した。労働者や、市、県に激震が走った。すぐに市も議会も工場の譲渡先確保、雇用継続などの要望書、決議文を知事に出した。関連企業も含め、三百六十人のうち、百五十人が香南市に住んでいる。旧香我美町も県とともに深くかかわってきた。県の対策本部のメンバーに正式に参加する責務がある。現在の取り組み状況を問う。

### 答 メンバーとして 本社に要請

小松 商工水産課長  
十二月二日に県は最初の対策会議を開いた。市は二月からメ

ンバーとして参加し、高知工場の譲渡先確保や第二工場用地への企業誘致などを東京本社と協議した。

### 清藤 市長

一月に知事と本社に行き承継企業や雇用の確保などを要請した。今後も知事と定期的に本社へ出向く。市の総合戦略への影響もあるのでは、あらゆるチャンネルを張り、対応していく。

### 問 関連会社の調査も

誘致から三十年経過している。過去の経緯をしっかりと調査し、会社側に責任は非常に重いということを強調しながら交渉すべきだ。関連会社も相当ある。この従業員数と今後の動向を調査しているか。

### 答 各会社を訪問し 調査を継続

小松 商工水産課長  
市長とともに各企業を訪問し、雇用や取引状況について聞き取りを行っている。県へも報告し、互いに情報共有している。今後も継続し、必要に応じて

て施策を講じる。

## 香南工業団地

### 問 ルネサスの教訓 どう生かす

県と共同開発した香南工業団地の状況と今後の見通しを問う。また、同団地は「補助金交付要綱」などで支援制度とともに地元雇用の確保、補助金返

還義務、立ち入り調査など、企業に制約を課した。ルネサス撤退を今後の教訓としてどう生かすか。

### 答 節目節目で 企業と確認

小松 商工水産課長  
三社に分譲済み、一社と分譲手続き中、残り一区画が未分譲である。山本貴金属地金(株)は着工未定。(株)精工は工場を建設中。第十工業(株)は三月末までに操業開始予定。残りの区画も早期分譲に向け取り組んでいる。教訓として企業と節目節目で相互に確認することが重要である。また、市民や議会にも状況について説明責任を果たしていく。



香南工業団地

## 三宝山の観光 拠点化基本構想

### 問 見えぬ県の熱意

三宝山の「磨き上げ委員会」の最終まとめは三月十八日。この最終まとめができていない中、次の検討委員会の予算を計上している。説明責任を果たした上で予算計上すべきではないか。また、会議を傍聴したが、県の意向が発信されていない。県の姿勢はどうなっているか。

### 答 県も積極的に関与

光明院 地域支援課長  
まとめに向け作業中であり、議会全員協議会で報告する。市の姿勢として、予算計上した上でないと企業の賛同を得られないことや、今後のプレイヤー探しのためにも当初予算で計上した。

### 清藤 市長

県も積極的に関与しているが、その姿が見えないという指摘を伝え、県と連携していく。

# 産業振興計画



山本 孝志議員

## 農業分野

### 問 レンタルハウス 事業者負担軽減を

市では、レンタルハウスの事業者負担が二分の一であるが、他の自治体では、事業者負担が三分の一の自治体がある。市としても負担の軽減を図るべきである。

### 答 現状の補助率で

村山 農林課長

要望数に添えるように、現状の補助率で運用していきたい。

### 問 ニラ洗浄そぐり機 要望が多い場合は

ニラ洗浄そぐり機は規模拡大し生産性を上げるために必要な

機械であるが、二十八年度の予算は六台である。要望が多い場合、増やす考えはあるか。

### 答 対応していく

村山 農林課長

要望があれば、要望に添えるよう対応していく。



道の駅やす

## 商業分野

### 問 ヤ・シイ選考の経過は

ヤ・シイパーク周辺地域活性化事業で（株）ヤ・シイが補助金、六千万円を使い、アイスクリーム・菓子を製造する機械の購入と販売施設の整備をする。産業振興は既存企業の育成をし、雇用を拡大し、地域を活性化させることである。ヤ・シイがこの計画の店を営業した場合、近隣の同業者の経営に大きな影響を与える。ヤ・シイは市が五一%の株を持つっており、市の会社が補助金を使い市の事業者の経営を厳しくしている構造に見て取れる。事業主体が、ヤ・シイに決まった選考の経過は。

### 答 検討委員会で決定

小松 商工水産課長

開発商品の特色や口ケーションを勘案し、検討委員会で決定された。

### 問 導入機械 市全体で活用を

導入予定の機械は、果物・野菜をペースト状にすることにより、加工・保存が容易にできるが、機械が高額なため、市内の零細企業では導入が困難である。ヤ・シイだけで使うのではなく、市全体での活用方法を考えるべきでは。

### 答 認められない

小松 商工水産課長

県の補助金交付要綱に基づき取得した財産は、補助金の交付目的に反して、使用・譲渡・貸し付け等の行為が認められない。

### 問 市の姿勢に疑問

この事業は空き店舗による収入減少を補う経営基盤を強化する事業にしか見えない。空き店舗が増えたから容易に産業振興の名目でこのような事業を考え、安易に事業を認める市の姿勢に疑問を感じる。現在、市はあまり経営方針にタッチしていないが、もう少し踏み込んで経

### 答 波及効果 もたらす

小松 商工水産課長

地域食材を活用することにより、生産農家の所得向上やヤ・シイ全体の集客力の強化、雇用創出につながり、地域の産業振興に波及効果をもたらすと考えている。

### 問 将来を見据えた 産業振興策を

今後の財政状況考えた場合、今、産業振興に投資しなければ、義務的経費比率が上がっていき、投資したくても投資できない状況になってくる。将来を見据えた産業振興に力を入れなければならない。市長の見解は。

### 答 レベルアップを図る

清藤 市長

産業振興に関わる担当課が目標達成に向けてどう取り組んでいるのか、情報を共有し、分析を行うことで課題の改善、レベルアップを図っていくよう、不断の進捗管理を行っている。

## 岸本小学校 統合問題



矢野 佳仁議員

### 問 議論は十分に 尽くされたか

昨年六月議会で、「地域とともにある学校づくりの視点を踏まえた丁寧な議論を行うことが望まれる」という文部科学省の手引に基づき、「地域住民の十分な理解と協力を得ること」をお願いしていたが、十分な議論が尽くされたか。

### 答 賛否の意見 尽くされ提言

安岡 教育長  
賛成、反対、それぞれの意見は尽くされたので、教育委員会の見解として集約し、市長に提言した。

### 問 防災学習訓練は

提言書では「釜石の奇跡」を引用し、「常に防災意識を持つ日常の生活のあり方と防災文化の継承から子どもたちは助かった」と紹介しているが、統合した場合、岸本小学校で行っている避難訓練・防災学習等は、日常的にどう行うか。

### 答 訓練内容を 見直し深める

安岡 教育長  
防災学習計画や避難訓練の内容を見直すなど、取り組みは今後深めていく。

### 問 地域から離れ どう進める

「言うは易し、するは難し」釜石の教育は、地域に根付いた生きる力の教育だ。地域から離れ、どのように進めるか。

### 答 PTAや協議会 の協力で

安岡 教育長  
PTAやまちづくり協議会の方々のご協力をいただきながら



避難訓練（岸本小学校）

### 問 頼みの地域との間に溝、 声や意見に対する回答は

協力をお願いする地域との間に溝ができています。また、出された声や意見に対するQ&Aと人口増や地域の活性化策を示してもらいたいという要望への回答もまだだが。

### 答 統合が決定 されてから

安岡 教育長

### 問 問題の解決 進んでいない

教育委員会はこの間一貫して自前の考えを説明し、意見を聞いただけで、問題の解決や歩み寄りの手立てなど、本質の協議に至っていない。

### 答 理解得るよう 努力する

安岡 教育長  
反対の意見の方にも統合に向けた条件整備の中で、理解いただけるよう努力する。

### 問 第三者委員会の 中身は

市長部局は、二分する声をそのまま丸投げされた形だが、第三者を交えた委員会の中身と協議は。

### 答 さまざまな学識 経験者で協議

野中 副市長  
教育・医療・まちづくりなど、さまざまに分野での学識経験者

## 県産業振興計画

### 問 農業クラスター 導入は

県の産業振興計画の目玉である「地域に根差した農業クラスター」の導入は。

### 答 ニラ関連で 考えている

村山 農林課長  
次世代型ハウスによる施設園芸団地で、農産物の生産を行うだけでなく、食品加工、物流拠点、直販所、レストラン等の関連企業が集積し、より多くの雇用を生み出すことを目標とした取り組みであり、ニラの関連産業を集約したクラスター形成を考えている。

※クラスターとは集積という意味で関連する施設等を集積する施策

# 審議した議案

## 三月定例会の審議結果

- 香南市選挙公報の発行に関する条例
- 香南市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- 香南市非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例
- 香南市税条例の一部を改正する条例
- 地方自治法第九十六条第二項の規定による議会の議決すべき事件を定める条例
- 香南市土地開発基金条例を廃止する条例
- 指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
- 香南市放課後児童健全育成事業に関する条例の一部を改正する条例
- 香南市立保育所条例の一部を改正する条例
- 非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 香南市水産機能施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 香南市火災予防条例の一部を改正する条例
- 吉川村共同利用常温煙霧機の設置及び管理に関する条例を廃止する条例
- 高知県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び高知県市町村総合事務組合規約の変更に伴う財産処分
- 平成二十七年香南市一般会計補正予算（第五号）
- 平成二十七年香南市国民健康保険特別会計補正予算（第二号）
- 平成二十七年香南市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第三号）
- 平成二十七年香南市介護保険特別会計補正予算（第二号）
- 平成二十七年香南市簡易水道事業特別会計補正予算（第三号）
- 平成二十七年香南市下水道事業特別会計補正予算（第三号）
- 平成二十七年香南市農業集落排水事業特別会計補正予算（第二号）
- 平成二十七年香南市水道事業会計補正予算（第二号）
- 平成二十八年香南市一般会計補正予算（第二号）
- 平成二十八年香南市国民健康保険特別会計予算
- 平成二十八年香南市後期高齢者医療保険特別会計予算
- 平成二十八年香南市工業団地造成事業特別会計予算
- 平成二十八年香南市簡易水道事業特別会計予算
- 平成二十八年香南市下水道事業特別会計予算
- 平成二十八年香南市農業集落排水事業特別会計予算
- 平成二十八年香南市水道事業会計予算
- 平成二十八年香南市工業用水道事業会計予算
- 香南市津波避難施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 香南市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 香南市一般職の職員の給与に関する条例及び香南市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例
- 非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 香南市一般職の職員の給与に関する条例及び香南市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例

## 発議

- 香南市議会委員会条例の一部を改正する条例
- 香南市議会会議規則の一部を改正する規則

## 四月臨時会の審議結果

- 専決処分の承認を求めること
- 香南市税条例等の一部を改正する条例
- 香南市国民健康保険条例の一部を改正する条例

- の一部を改正する条例
- 平成二十七年香南市一般会計補正予算(第六号)
- 平成二十七年香南市国民健康保険特別会計補正予算(第三号)
- 平成二十七年香南市介護保険特別会計補正予算(第三号)
- 平成二十七年香南市工業団地造成事業特別会計補正予算(第一号)
- 平成二十七年香南市簡易水道事業特別会計補正予算(第四号)
- 平成二十七年香南市下水道事業特別会計補正予算(第四号)
- 平成二十七年香南市農業集落排水事業特別会計補正予算(第三号)
- 平成二十七年香南市漁業集落排水事業特別会計補正予算(第一号)
- 香南市市道の認定
- 香南市教育委員会委員の任命 (全員賛成 〓 承認) (二名同意)
- 平成二十八年香南市国民健康保険特別会計補正予算(第一号)

一号)

● 平成二十八年香南市介護保険特別会計補正予算(第一号) (全員賛成 〓 可決)

● 香南市監査委員の選任 (一名同意)

**発議**

● 香南市議会議規則の一部を改正する規則 (全員賛成 〓 可決)

**議会を傍聴してみませんか**

議員の活動や市政方針についての議論などを、実際に見聞きされてみてはいかがでしょうか。個人でも団体でも自由に傍聴できます。

なお、傍聴にあたっては、傍聴席入口にて、傍聴人受付票に氏名と住所を記載していただきます。もしたら傍聴できます。

第66回定例会 審議結果 (全員賛成以外のもの)

議案	結果	林	志磨村	岡本	北本	山中	小泉	西内	中屋	野本	森本	宮崎	矢野	山本	上田	馴田	山崎	竹村	斉藤	眞辺	黒石
議案第37号 平成28年度香南市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	議長

第67回臨時会 審議結果 (全員賛成以外のもの)

議案	結果	林	志磨村	岡本	北本	山中	小泉	西内	中屋	野本	森本	宮崎	矢野	山本	上田	馴田	山崎	竹村	斉藤	眞辺	黒石
議案第52号 専決処分の承認を求めることについて(香南市税条例等の一部を改正する条例)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	議長
議案第53号 専決処分の承認を求めることについて(香南市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	議長

※ 「○」は賛成。「×」は反対。「議長」は採決に加わらない。

**市議会だよりについて**

市議会だよりは、誌面の都合上、本会議の概要のみを掲載しております。「掲載された事項について詳しく知りたい」、「掲載されていない内容についても知りたい」という場合には、「香南市議会議録」を閲覧することができ、「会議録」には、質問を行った議員及び市当局の答弁内容を含め、本会議におけるすべての状況が記録されています。

また、香南市ホームページの市議会のページに「会議録検索」がありますので、ご利用ください。

詳しくは、議事事務局までお問い合わせください。

TEL: 57-8513

(※会議録は、会議終了後、約三カ月後までに、作成及び掲載しています。)

## 香南市制施行・合併10周年記念式典開催

2月27日（土）、のいちふれあいセンターで、市主催の市制施行・合併10周年記念式典が開催されました。市内の各自治会長や市関係者など約400人の参加がありました。



### 議長挨拶 (要旨)

平成十八年三月に旧香南五方町村が、この地域の将来を展望し、合併を行いました。以来、十年間の歩みは、旧五方町村間のひずみを直し、協調しながら今日まで、県内トップの行政を目指して、邁進してまいりました。

しかし、この十年の世の流れは、大都市への一極集中の社会構造に押し流されながら、人口減少と高齢化社会の進む構図になってしまいました。

これらに対応するには、先を見越し徹底した行政施策と、その実行が不可欠であると思います。

温暖な地の利と生産技術を駆使した一次産業の振興、豊かさや生きがいを提供できるまちづくり、安定した雇用の場の確保など、香南市もまだまだ創意工夫を凝らし頑張らなくてはなりません。

命を守る避難タワーは、間もなく出来上がります。次は、大規模な災害の被災後における、復興システムづくりであります。五年を経過した東日本大震災の被災地の現状を見ても、いかにスピード感を持って復興対応ができるかが重要であります。その中であつて、特に、各行政間の連携は大切であると考えます。

私たち議会は、現状と将来をしっかりと見据え議論しながら、議会人として役割・責任を果たし、執行部と共に市民福祉の増進に全力で取り組んでまいります。

この、市制十周年を祝し高知県をはじめ、各市町村の限らない発展とご来賓各位、並びに市民各位のご活躍とご健勝をご多幸を心祈念申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

## 《香南市議会10年の歩み》

### 歴代議長・副議長

	議長	副議長
平成18年度～平成19年度	野崎 昌男	信吉 孝彦
平成20年度～平成21年度	眞辺 慶一	黒石 博章
平成22年度～平成23年度	野崎 昌男	竹村 暢文
平成24年度～平成25年度	山本 茂夫	西内 俊夫
平成26年度～平成27年度	黒石 博章	西内 治水

	審議した議案数	議員及び委員会提出議案数
平成18年度	183	19
平成19年度	149	18
平成20年度	134	6
平成21年度	160	7
平成22年度	104	8
平成23年度	111	6
平成24年度	161	3
平成25年度	158	3
平成26年度	110	11
平成27年度	117	11

# 香南市議会略史

当日有権者数 27,146人  
投票者数 20,374人  
投票率 75.05%

平成18年 4月16日  
市議会議員選挙

合併後初の選挙により市民の代表26名が決定



初議会

年代別議員数  
20代 0人 30代 0人  
40代 5人 50代 9人  
60代 12人 70代 0人

平成18年 4月17日  
当選証書授与

自衛隊立地対策特別委員会・産業廃棄物処理施設対策特別委員会・工業用水特別委員会設置

定数変更26名から22名に

当日有権者数 27,063人  
投票者数 18,892人  
投票率 69.81%

平成22年 4月11日  
市議会議員選挙

年代別議員数  
20代 0人 30代 0人  
40代 2人 50代 8人  
60代 8人 70代 4人

平成22年 4月12日  
当選証書授与



被災地視察（気仙沼）

平成23年 3月11日東日本大震災発生

平成23年10月  
教育民生・産業建設・総務常任委員会  
東日本大震災被災地視察

**被災地視察の感想**  
震災の体験談や議会人の心構え、長期にわたる避難生活など被災者でなければ、語ることのできない生の声を聞くことができた。尊い犠牲の上に立てられた復興目標、防災教育などの経験を当市も学び、予想される南海トラフ大地震の防災対策に生かしていくべきである。

定数変更22名から20名に

当日有権者数 27,288人  
投票者数 14,377人  
投票率 52.69%

平成26年 4月13日  
市議会議員選挙

年代別議員数  
20代 1人 30代 0人  
40代 2人 50代 7人  
60代 6人 70代 4人

平成26年 4月14日  
当選証書授与



広聴懇談会

平成27年 3月17日  
議会改革調査特別委員会設置

平成28年 2月23日  
議会改革調査特別委員会主催で  
広聴懇談会を開催

**議会改革特別委員会設置の趣旨**  
地方分権一括法の施行により、中央から地方分権型への転換に向けた改革が行われ、議会には団体意思決定を行う議事機関、また、執行機関の監視機関としての機能の充実・強化が従前にも増して必要とされている。本市議会としても二元代表制の一翼を担う機関としての責任を果たすべく、議会改革を進めてきたが、さらに、改革を推し進め、そのまともとして、「議会基本条例」制定につなげていく。

# 市議会の新体制

二十八年四月二十五日臨時市議会が開催され、議長及び副議長の選出、各常任委員会などの組織が決定した。

議長 志磨村 公夫



副議長 斉藤 朋子



議長あいさつ

このたびの、第六十七回市議会臨時会におきまして、議長に就任することになりました。

合併十年目になる本市では、人口減少社会の到来など、時代の大きな転換点を迎え、さまざまな課題に直面しております。

このような中、市議会の果たすべき役割はますます大きなものとなってきており、主権者である市民の皆さまに代わり、今まで以上に活発な議論を行うと共に、執行部と議会が協力し、「市民の福祉の増進」、「香南市に住んで良かった」と思える市政の実現に全力投球してまいります。

若輩ではありますが、一生懸命頑張る決意でございます。

今後とも、市民の皆さまには議会に對しましてご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

常任委員会

本市議会には、議案や請願を詳細に審査し、市の事務を専門的に調査するため、三つの常任委員会が設置されており、議員はいずれかの委員会に所属することになっているが、議長は中立的かつ公平な議会運営に臨むため辞退している。

(以下、「◎」…委員長、「○」…副委員長、掲載順序は議席番号順)

## 総務常任委員会



庶務、財政、消防防災、税務及び他の常任委員会に属さない事務を所管する。定数は六人。

- ◎北本 洋介 ○山崎 朗
- 山中 昭 山本 孝志
- 斉藤 朋子 眞辺 慶一

## 産業建設常任委員会



産業経済、建設土木、上下水道に関する事務を所管する。定数は七人。

- ◎野本 光生 ○森本 恵子
- 岡本 司 小泉 潤
- 西内 治水 矢野 佳仁
- 黒石 博章

## 教育民生常任委員会



教育民生に関する事務を所管する。定数は七人。

◎竹村 暢文 ○林 道夫  
 中屋 和彦 宮崎 晃行  
 上田 瀧雄 馴田 文雄

## 議会運営委員会

議会の円滑な運営を行うために常時置かれている委員会です、議事の順序や進め方などを協議する。定数は八人。

◎眞辺 慶一 ○山崎 朗  
 北本 洋介 小泉 潤  
 西内 治水 野本 光生  
 森本 恵子 竹村 暢文

### 議会選出監査委員

宮崎 晃行

### 一部事務組合議会議員

香南清掃組合議会議員  
 志磨村 公夫 北本 洋介

香南香美衛生組合議会議員

志磨村 公夫 野本 光生  
 森本 恵子

香南斎場組合議会議員

斉藤 朋子 竹村 暢文

香南香美老人ホーム組合議会議員

志磨村 公夫 竹村 暢文  
 林 道夫

## 各委員会の開催状況

二十一日

議会改革調査特別委員会  
 第一分科会  
 (議会基本条例等)

二十二日

議会改革調査特別委員会  
 (議会改革に伴う広聴懇談会)

二十三日

一般会計当初予算審査特別委員会  
 (委員長・副委員長の互選)

二十四日

議会運営委員会  
 (第六十六回定例会の追加提案・意見書の取り扱い・香南市議会委員会条例の一部改正案等)

二十五日

一般会計当初予算審査特別委員会第一分科会  
 (平成二十八年香南市一般会計予算審査)

二十六日

総務常任委員会  
 (第六十六回定例会付託議案審査十八件)

二十七日

産業建設常任委員会  
 (ヤ・シイパーク周辺地域活性化事業の進捗状況・「道の駅やす」の空き店舗及び運営の課題等)

二十八日

一般会計当初予算審査特別委員会  
 (第六十六回定例会付託議案審査九件)

二十九日

一般会計当初予算審査特別委員会第三分科会  
 (平成二十八年香南市一般会計予算審査)

三十日

産業建設常任委員会  
 (第六十六回定例会付託議案審査十三件)

三十一日

一般会計当初予算審査特別委員会  
 (平成二十八年香南市一般会計予算)

一日

議会改革調査特別委員会第一分科会  
 (議会基本条例等)

二日

議会運営委員会  
 (第六十六回香南市議定会定の反省事項等)

## 委員長報告

### 【議会改革特別委員会】

委員長 山本 孝志

香南市に合った、より良い議会改革を進めるための先進地の視察研修や各種の講習会の受講も終え、議会の最高規範となる議会基本条例の制定に向けて取り組んでいる。

現在は二つの分科会を設置し、第一分科会では議会基本条例案・倫理条例案を研究し、第二分科会では、議会報告会(広聴会)の進め方・政策立案方策に取り組んでいる。

第一分科会では、議会基本条例原案策定に向け、月二回ほど会議を開いている。現在は、大規模災害が発生した際の市議会議員の対応等を定める議会災害時対応要領(案)を作成し、基本条例案も、ほぼ出来上がっており、基本条例の逐条解釈文の策定に向けて取り組んでいる。第二分科会では、議会報告(広聴会)・政策立案能力の向上・議員提案条例の進め方等をより良い方向に進めるために高知工科大学の那須先生にサポートしていただいている。

二月二十三日に、まちづくり協議会会長との広聴懇談会を那須先生がファシリ

テーターとして、各まちづくり協議会の活動や組織運営の課題・現状について、実施した。今回の広聴懇談会はロジックモデルを活用して行われ、現在まちづくり協議会が、抱えている課題をロジックモデルに入れて行き、議会として、そこで出た、課題を政策として、どのように実行していくかの基礎となるロジックモデルを作成した。



「高齢者の幸せ」ロジックモデル作成

三月二十三日に議会発議として、市会議規則の一部を改正する規則(本会議における広聴会及び参考人の規定)と市会議委員会条例の一部を改正する条例(議長は常任委員会を辞退または辞任することができる規定)の改正をした。

市民に誇れる市議会にするため、改革を実行していき、九月には議会基本条例の制定を目指している。

※ロジックモデル…ある施策がその目的を達成するに至るまでの論理的な因果関係を明示したもの。

## 編集後記



平成十八年三月に香南市が誕生して、十周年を迎え、記念式典が開催されました。本議会だよりでは、市議会の十年の歴史を振り返り、主な出来事を記した略史を掲載させていただきました。十年の間には、日本国内において、リーマンショックや東日本大震災などの未曾有の危機が発生し、また、最近では、熊本地震により、多くの国民の皆様が被災されており、多くの国民の皆様が被災されている熊本地震の被災者の皆様に対しまして、謹んでお見舞いを申し上げます。早期の地震の収束とともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。本市議会でも、必ず発生するとされている南海トラフ地震対策にさらにレベルアップして取り組まなければならないと改めて感じているところです。

香南市においても、この十年の歩みは、決して平たんなものではありませんでした。その中で市議会として、東日本大震災の被災地の視察、議会改革特別委員会の設置、二回にわたる議員定数の削減等に取り組

み、真に市民の皆様への負託にこたえる議会へと成長するために努力してまいりました。さらに、次の十年間研鑽を重ね、香南市に住んで良かった、香南市民であることを誇りに思うと市民の皆様が実感できる香南市にするため頑張つてまいりますので、今後の市議会にご期待ください。

議会だより編集委員会は、この四月から、新体制になりました。市民の皆様が親しみを持てる紙面を目指して、様々な工夫をしておりますので、ぜひ、皆様のご意見・要望をお寄せください。



こうなん市議会だより編集委員